



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月10日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7851 URL <https://www.kc-s.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 康平  
 問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者兼総務部長 (氏名) 梶山 伸夫 (TEL) 06-6222-7474  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,397	△5.9	△39	—	△26	—	△30	—
29年3月期第2四半期	1,486	0.4	△15	—	△11	—	△17	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年3月期第2四半期	△6.54		—					
29年3月期第2四半期	△3.61		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	4,077	3,273	80.3
29年3月期	4,205	3,353	79.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,273百万円 29年3月期 3,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	1.6	15	—	25	182.0	10	—	2.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期2Q	5,160,000株	29年3月期	5,160,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	429,110株	29年3月期	429,110株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期2Q	4,730,890株	29年3月期2Q	4,730,890株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (1) 業績の状況

当第2四半期累計期間における日本経済は、地政学的リスクや海外経済のリスクはあるものの、緩やかな拡大基調が続いています。

ビジネスフォーム業界におきましては、企業業務における電子媒体の活用が進む等、印刷需要の減少、それに伴う価格競争の激化や原材料をはじめとする資材の値上がりの影響を受け、引き続き厳しい状況が続いております。

このような情勢の中で、営業部門におきましては、ビジネスフォームと情報処理の技術を組み合わせたビジネスプロセスアウトソーシング関連業務をメインの獲得業務と定め、金融機関、中央官庁及び地方自治体及び電子媒体の浸透が遅れている中規模のメーカー、卸売業などをターゲットに活動し、自社設備稼働率向上をめざし自社案件の獲得に注力してまいりました。

生産部門におきましては、生産部門が利益の根源と考え、生産性の向上、製造コストの圧縮を図るため、全ての部門で生産のスピードアップ、原材料の予備数見直しによる原材料費率の削減、加工外注の内製化などに取り組んでまいりました。

その結果、売上高は1,397百万円（前年同期は1,486百万円）、経常損失は26百万円（前年同期は11百万円の経常損失）、四半期純損失は30百万円（前年同期は17百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① ビジネスフォーム事業

企業のコスト見直しによる需要の減少に加え、価格競争による取引先の獲得競争が激化している事により、既存取引先の堅持及び新規取引先の拡大に繋がれず、売上高は前年同期と比べ、64百万円減少の823百万円（前年同期は887百万円）、セグメント利益は95百万円（前年同期は128百万円）となりました。

#### ② 情報処理事業

金融機関など既存案件の維持と中央官庁及び外郭団体の新規案件獲得に営業活動を注力してまいりましたが、売上高は前年同期と比べ、24百万円減少の574百万円（前年同期は598百万円）、セグメント利益は53百万円（前年同期は44百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末と比べ110百万円減少し、2,325百万円となりました。これは主に「商品及び製品」が16百万円、「原材料及び貯蔵品」が70百万円、「その他」に含まれる「前払費用」が10百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が105百万円、「受取手形及び売掛金」が96百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は前事業年度末と比べ17百万円減少し、1,752百万円となりました。これは主に「投資その他の資産」に含まれる「保険積立金」が13百万円増加し、減価償却の影響により「有形固定資産」が28百万円減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ48百万円減少し、649百万円となりました。これは主に「買掛金」が18百万円、「短期借入金」が10百万円、「その他」に含まれる「リース債務」が15百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は154百万円と前事業年度末153百万円と比べ大きな増減はありませんが、「退職給付引当金」が1百万円、「役員退職慰労引当金」が5百万円それぞれ増加し、「長期借入金」が3百万円、「その他」に含まれる「リース債務」が3百万円それぞれ減少しております。

純資産の部は前事業年度末と比べ79百万円減少し、3,273百万円となりました。これは主に「利益剰余金」が78百万円、「その他有価証券評価差額金」が1百万円それぞれ減少したことによるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により22百万円の収入、投資活動により48百万円、財務活動により79百万円それぞれ支出した結果、前事業年度末と比べ105百万円減少し1,647百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、主に非現金支出費用の減価償却費67百万円、債権回収として売上債権の減少額96百万円が収入としての増加要因となり、棚卸資産の増加額89百万円、仕入債務の減少額18百万円が現金支出としての減少要因となったことにより、営業活動によるキャッシュ・フローは22百万円の収入（前年同四半期は28百万円の収入）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、主に保険積立金の解約による収入17百万円、有形固定資産の取得による支出42百万円、保険積立金の積立による支出23百万円により、投資活動によるキャッシュ・フローは48百万円の支出（前年同四半期は154百万円の支出）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間は、短期借入金の純減額10百万円、長期借入金の返済による支出3百万円、リース債務の返済による支出19百万円、配当金の支払額47百万円により、財務活動によるキャッシュ・フローは79百万円の支出（前年同四半期は62百万円の支出）となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の見通しにつきましては、現時点における修正はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,833,041	1,727,442
受取手形及び売掛金	506,534	409,988
商品及び製品	26,544	42,731
仕掛品	8,120	10,893
原材料及び貯蔵品	23,123	93,511
その他	38,302	40,646
貸倒引当金	△51	△41
流動資産合計	2,435,614	2,325,172
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	298,409	287,197
土地	523,057	523,057
その他（純額）	291,603	274,092
有形固定資産合計	1,113,070	1,084,347
無形固定資産	13,921	11,944
投資その他の資産	643,330	656,346
固定資産合計	1,770,321	1,752,638
資産合計	4,205,936	4,077,810
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	199,053	180,585
短期借入金	336,640	326,640
未払法人税等	16,213	12,263
賞与引当金	31,766	29,091
その他	114,477	100,868
流動負債合計	698,150	649,449
固定負債		
長期借入金	13,360	10,040
退職給付引当金	54,738	56,182
役員退職慰労引当金	52,036	57,320
その他	33,729	30,833
固定負債合計	153,864	154,376
負債合計	852,015	803,825
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,028,077	949,828
自己株式	△105,338	△105,338
株主資本合計	3,322,044	3,243,795
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,876	30,190
評価・換算差額等合計	31,876	30,190
純資産合計	3,353,920	3,273,985
負債純資産合計	4,205,936	4,077,810

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,486,080	1,397,841
売上原価	1,080,960	1,027,079
売上総利益	405,119	370,762
販売費及び一般管理費	420,326	409,797
営業損失(△)	△15,206	△39,035
営業外収益		
受取利息	601	747
受取配当金	1,665	1,783
為替差益	-	39
作業くず売却益	1,904	2,709
保険差益	587	7,009
その他	2,838	2,684
営業外収益合計	7,597	14,973
営業外費用		
支払利息	2,420	1,952
その他	1,025	82
営業外費用合計	3,446	2,034
経常損失(△)	△11,055	△26,095
税引前四半期純損失(△)	△11,055	△26,095
法人税、住民税及び事業税	6,013	4,844
法人税等合計	6,013	4,844
四半期純損失(△)	△17,069	△30,940

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△11,055	△26,095
減価償却費	70,779	67,440
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	△9
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,486	△2,674
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,232	1,443
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,983	5,283
受取利息及び受取配当金	△2,267	△2,531
支払利息	2,420	1,952
保険差益	△587	△7,009
売上債権の増減額(△は増加)	99,462	96,545
たな卸資産の増減額(△は増加)	△44,027	△89,347
仕入債務の増減額(△は減少)	△59,588	△18,467
その他	△23,458	2,612
小計	36,397	29,143
利息及び配当金の受取額	2,278	2,527
利息の支払額	△2,407	△1,822
法人税等の支払額	△7,552	△7,052
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,716	22,796
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△111,042	△42,501
無形固定資産の取得による支出	△1,714	-
投資有価証券の取得による支出	△20,924	△709
保険積立金の積立による支出	△21,789	△23,380
保険積立金の解約による収入	922	17,914
その他	△124	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154,674	△48,676
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,000	△10,000
長期借入金の返済による支出	△3,320	△3,320
リース債務の返済による支出	△22,343	△19,138
配当金の支払額	△46,453	△47,299
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,116	△79,757
現金及び現金同等物に係る換算差額	△231	39
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△188,306	△105,598
現金及び現金同等物の期首残高	1,870,422	1,753,041
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,682,116	1,647,442



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	887,624	598,456	1,486,080	—	1,486,080
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	887,624	598,456	1,486,080	—	1,486,080
セグメント利益又は損失(△)	128,113	44,880	172,994	△188,201	△15,206

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期財務諸表の営業損失と調整を行っています。

II 当第2四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	823,393	574,447	1,397,841	—	1,397,841
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	823,393	574,447	1,397,841	—	1,397,841
セグメント利益又は損失(△)	95,054	53,394	148,449	△187,484	△39,035

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期財務諸表の営業損失と調整を行っています。